

# 2022年12月期 第3四半期 決算補足説明資料

株式会社アシックス  
2022年11月11日



# 目次

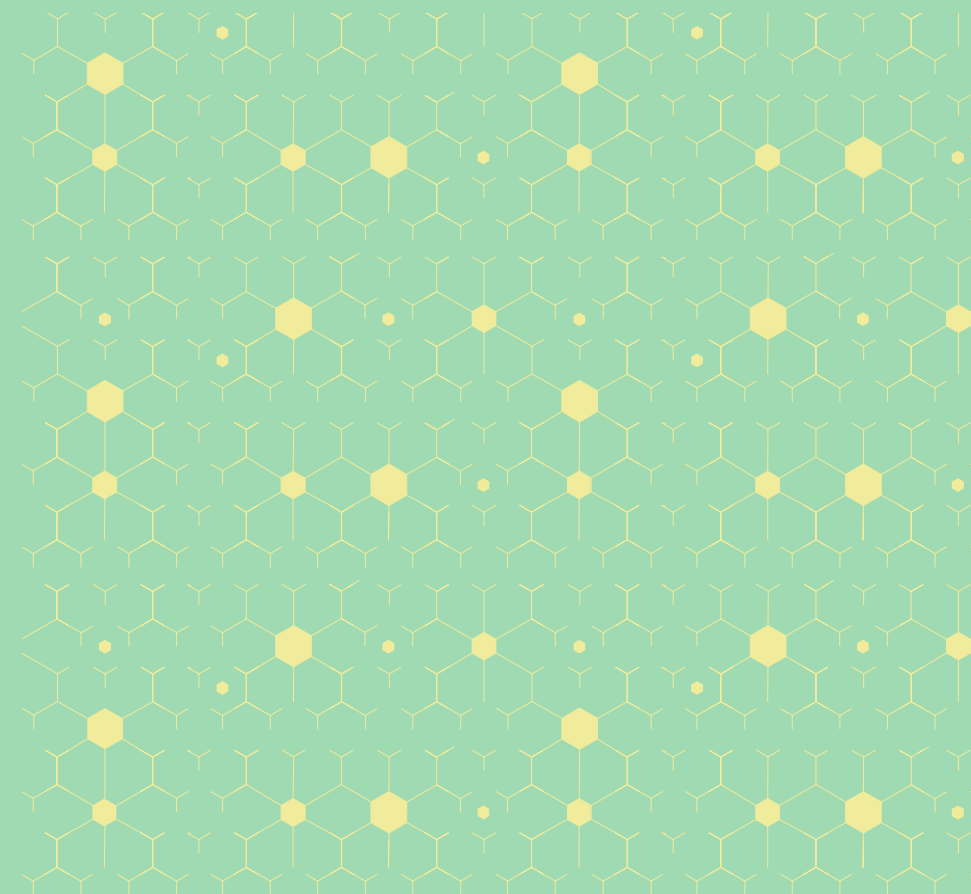
1

1. 連結業績
2. 連結経営成績（カテゴリー別）
3. 連結経営成績（地域別）
4. 連結財政状態
5. 連結業績予想
6. その他

## DISCLAIMER

将来見通しに関する記述についての注意

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。したがって、これらの業績見通しの上に全面的に依拠することは控えてくださいますよう、お願いいたします。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実性により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実性には、当社の事業を取り巻く経済情勢、さまざまな競争圧力、関連法律・法規、為替レートの変動などを含みます。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。



# 2022年12月期第3四半期 ポイント

2

- ✓ 売上高（前年同期：3,222億円→当第3四半期累計：3,630億円）は大幅伸長。  
上海等での新型コロナウイルスによる行動規制影響があったものの、前年同期比で12.7%の成長。  
為替影響を除いても3.5%の成長。計画比大幅に過達。
- ✓ 粗利率は、主に仕入為替の悪化や米欧での物流費の高騰にもかかわらず、チャネルミックスの良化や  
販売価格の適正化などもあり、前年と同水準を保った。
- ✓ 営業利益は360億円となり、前年同期比増益。計画は大幅に超過。なお、四半期純利益（232億円）は、  
前年同期比+21.9%の増益。
- ✓ パフォーマンスランニングの売上高は、前年同期比2桁増収（+17.8%）となり、中華圏やオセアニア  
では+30%超、東南・南アジアでは+56.0%と大幅伸長。なお、第3四半期3ヶ月期間では、中華圏の  
+51.4%成長もあり、カテゴリーとしては25.8%プラス。
- ✓ コアパフォーマンススポーツの売上高は、テニスにおけるシェアNo.1となった北米、成長著しい中華  
圏の貢献もあり、前年同期比2桁増収（+16.2%）。なお、第3四半期3ヶ月期間では、47.6%プラス。
- ✓ オニツカタイガーの売上高は、上海等での新型コロナウイルスによる行動規制影響があり中華圏では  
減収も、日本では+18.8%、東南・南アジアでは+139.7%と伸長。なお、第3四半期3ヶ月期間は、  
前年同期比30.4%プラス。
- ✓ 通期業績予想は、主力のパフォーマンスランニングに加えてコアパフォーマンススポーツでも好調な  
推移が見込まれ、売上（4,800億円）、営業利益（340億円）、当期純利益（210億円）に上方修正。  
売上、営業利益については過去最高となる見込み。



# デジタル・サービスにおける取り組み

- ✓ OneASICS会員数の増加とともに、EC売上高は大きく伸長。
- ✓ アールビーズと連携、国内におけるランニングエコシステム構築も急ぐ。

3

## < OneASICS会員の増加と連動するEC売上高の拡大 >

中期経営計画目標の2023年500万人を前倒しで達成。

|                 | FY19Q4    | FY20Q4    | FY21Q4    |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|
| EC売上高           | 278<br>億円 | 517<br>億円 | 638<br>億円 |
| OneASICS<br>会員数 | 200<br>万人 | 390<br>万人 | 540<br>万人 |

|                 | FY21Q3    | FY22Q3    |
|-----------------|-----------|-----------|
| EC売上高           | 466<br>億円 | 584<br>億円 |
| OneASICS<br>会員数 | 500<br>万人 | 670<br>万人 |

19年比  
売上高：2.3倍  
会員数：2.7倍

次の目標として  
1,000万人  
を目指す

21年Q3比で売上高は1.3倍、会員数も1.3倍へ

## < アールビーズのグループ会社化と新たな取り組み >



日本において、年間230万人のレース登録者を獲得（累計会員数350万人）し、質の高い大会運営と計測（500大会）を提供するアールビーズをグループ会社化



アールビーズ主催のオクトーバー・ラン&ウォークにて、特別企画「Challenge with ASICS」を開催。10月1ヶ月間の目標を設定し、目標達成者にはアシックスから特典提供。

“日本のランナーとのタッチポイントを増やし  
ランニングエコシステムの構築を加速させる”

- ✓ 東京2020大会のコースを活用した「東京レガシーハーフマラソン2022（10/16開催）」のオフィシャルパートナーに。
- ✓ 男子総合優勝および日本人2位(総合10位)、女子総合優勝および日本人1位(総合3位)等がMETASPEED+シリーズを着用。
- ✓ アシックスシューズ着用率のシェアは2位へ。

©東京マラソン財団

男子総合優勝  
ヴィンセント・キプケモイ選手



女子総合優勝  
キャロライン・ニヤガ選手



女子日本人1位  
山口 遥選手



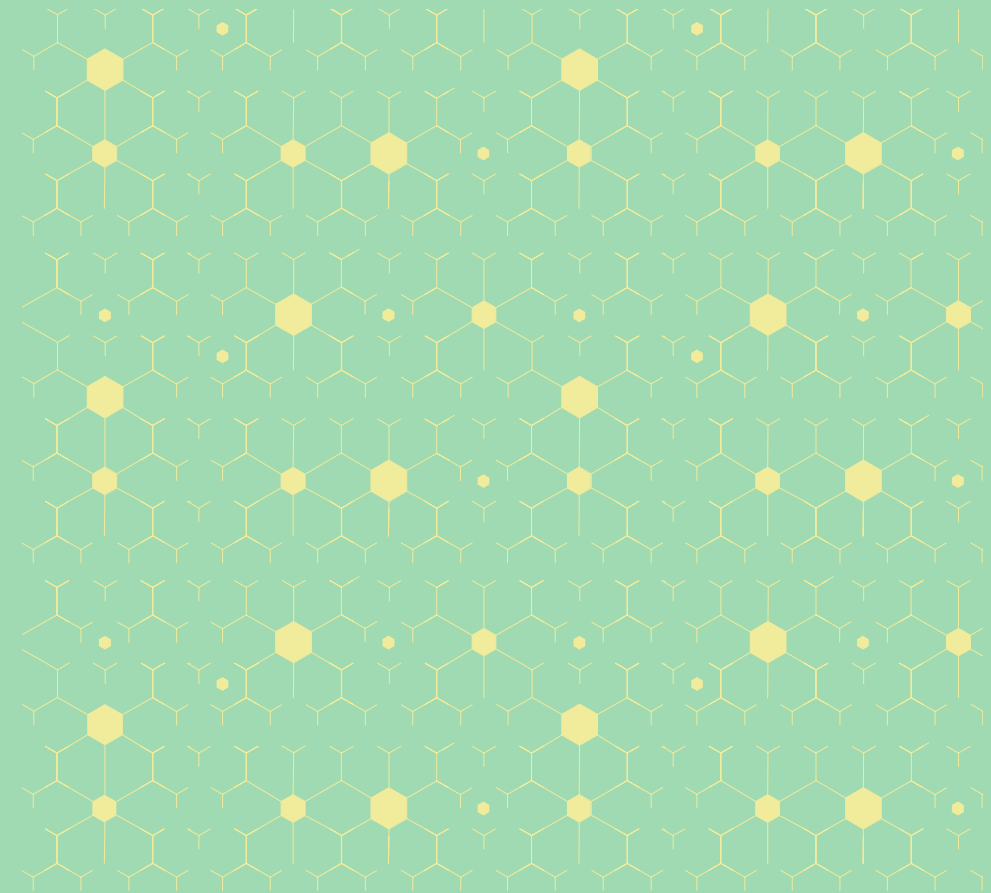
男子日本人2位  
上門 大佑選手



# 1. 2022年12月期 第3四半期連結業績

5

- ✓2022年12月期第3四半期 概要
- ✓連結決算ハイライト
- ✓販管費の状況



## 売上高

前年同期比：+408億円 +12.7%（為替影響除く増減 +111億円 +3.5%）

- ◆ 売上高（前年同期：3,222億円→当第3四半期累計：3,630億円）は大幅伸長。  
上海等での新型コロナウイルスによる行動規制影響があったものの、前年同期比で12.7%の成長。  
為替影響を除いても3.5%の成長。計画比大幅に過達。
- ✓ パフォーマンスランニングは、前年同期比2桁増収（+17.8%）となり、中華圏やオセアニアでは+30%超、東南・南アジアでは+56.0%と大幅伸長。なお第3四半期3ヶ月期間では、中華圏の+51.4%成長もあり、カテゴリーとしては25.8%プラス。
- ✓ コアパフォーマンススポーツの売上高は、テニスにおけるシェアNo.1となった北米、成長著しい中華圏の貢献もあり、前年同期比2桁増収（+16.2%）。なお、第3四半期3ヶ月期間では、47.6%プラス。
- ✓ オニツカタイガーは、上海等での新型コロナウイルスによる行動規制影響があり中華圏では減収も、日本では+18.8%、東南・南アジアでは+139.7%と伸長。なお、第3四半期3ヶ月期間は、カテゴリーとして前年同期比+30.4%。

## 営業利益

前年同期比：+3億円 +0.7%（為替影響除く増減 △25億円 △7.2%）

- ◆ 営業利益は360億円となり、前年同期比増益。計画は大幅に超過。
- ✓ 粗利率は、主に仕入為替の悪化や米欧での物流費の高騰にもかかわらず、チャネルミックスの良化や販売価格の適正化などもあり、前年と同水準を保った。

## 四半期純利益

前年同期比：+42億円 +21.9%（為替影響除く増減 +12億円 +6.4%）

- ◆ 四半期純利益（232億円）は、前年同期比21.9%の増益。一部子会社の黒字化に伴う実効税率が改善。



# 連結決算 ハイライト

7

(単位：億円)

|                      | 2021年<br>(FY21Q3)<br>実績 | 2022年<br>(FY22Q3)<br>実績 | 前年同期比<br>上段：増減額<br>下段：増減率 |
|----------------------|-------------------------|-------------------------|---------------------------|
| 売上高                  | 3,222                   | 3,630                   | +408<br>+12.7%            |
| 売上総利益                | 1,612                   | 1,815                   | +203<br>+12.5%            |
| 売上総利益率               | 50.1%                   | 50.0%                   | △0.1ppt                   |
| 販管費                  | 1,255                   | 1,455                   | +200<br>+15.9%            |
| 販管費率                 | 39.0%                   | 40.1%                   | +1.1ppt                   |
| 人件費                  | 423                     | 491                     | +68<br>+16.0%             |
| 広告宣伝費                | 207                     | 223                     | +16<br>+7.5%              |
| 広告宣伝費率               | 6.5%                    | 6.2%                    | △0.3ppt                   |
| 賃借料                  | 87                      | 91                      | +4<br>+4.2%               |
| 減価償却費                | 95                      | 112                     | +17<br>+18.1%             |
| その他経費                | 443                     | 538                     | +95<br>+21.4%             |
| 営業利益                 | 357                     | 360                     | +3<br>+0.7%               |
| 営業利益率                | 11.1%                   | 9.9%                    | △1.2ppt                   |
| 経常利益                 | 356                     | 342                     | △14<br>△4.1%              |
| 特別損益                 | △65                     | △6                      | +59                       |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 | 190                     | 232                     | +42<br>+21.9%             |

|       | FY21 Q3 | FY22 Q3 | 増減額  | 増減率     |
|-------|---------|---------|------|---------|
| 海外売上高 | 2,529   | 3,001   | +472 | +18.7%  |
| 海外比率  | 78.5%   | 82.7%   | -    | +4.2ppt |

|        |          |      |       |
|--------|----------|------|-------|
| 為替影響除く | 連結売上高増減  | +111 | +3.5% |
|        | 連結営業利益増減 | △25  | △7.2% |
|        | 連結純利益増減  | +12  | +6.4% |

< 参考：平均為替レート(円) >

|      | 第3四半期(1～9月) |         |
|------|-------------|---------|
|      | FY21 実績     | FY22 実績 |
| 1ドル  | 108.48      | 127.94  |
| 1ユーロ | 129.90      | 136.00  |
| 1人民元 | 16.77       | 19.31   |



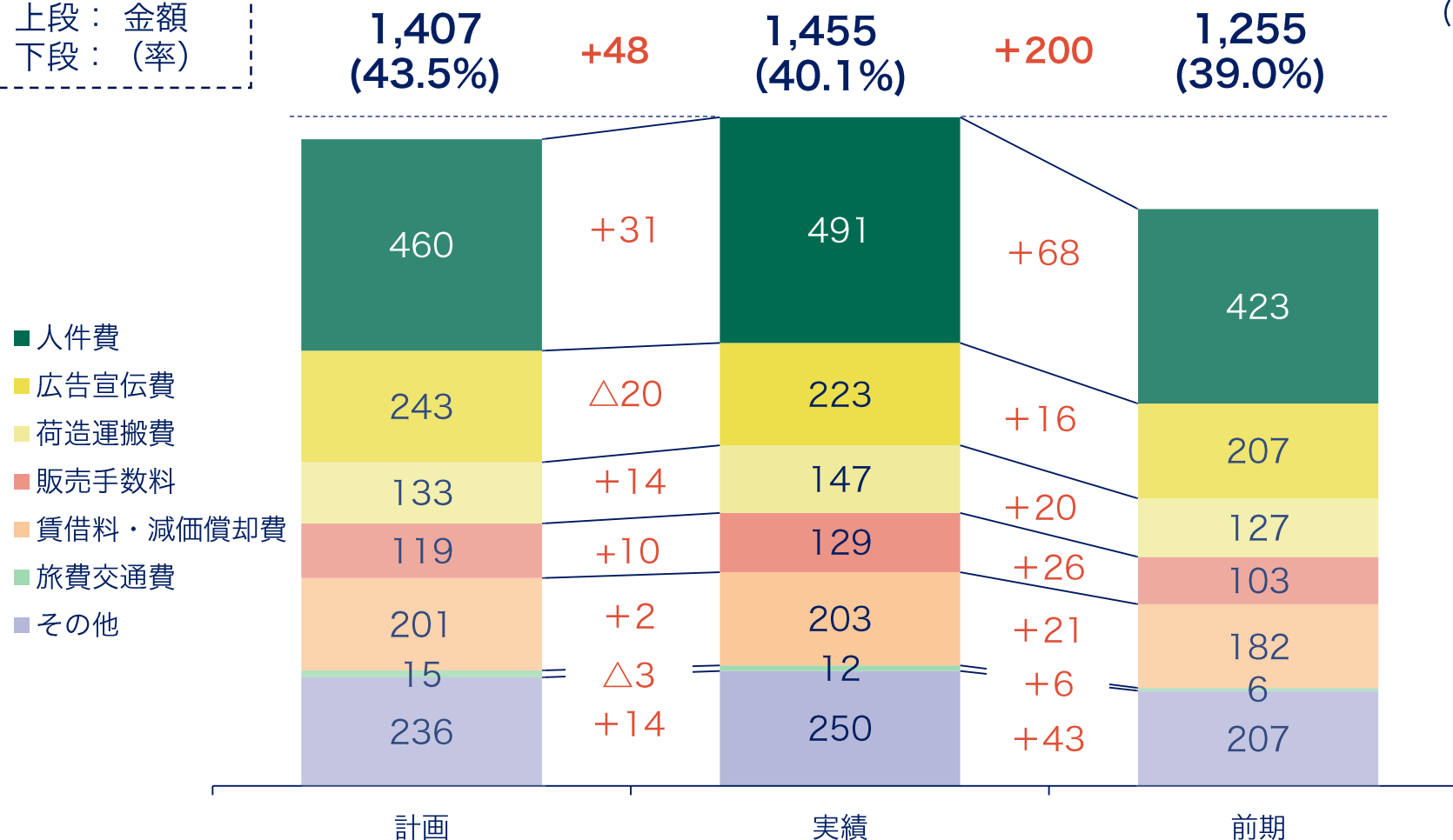
# 販管費の状況（第3四半期累計）

8

- ✓ 計画比は、48億円増加。為替影響(136億円)が大きく、為替影響を除くとほぼ全ての経費科目において計画以下でコントロール。なお、広告宣伝費は商品発売時期の変更に伴い減少。
- ✓ 前年同期比は、200億円増加(115億円は為替影響)。為替影響を除く主要因は、人件費でデジタル関連投資(11億円)、前期の特損振替(5億円)等により増加、販売手数料や荷造運搬費はRTとEC売上変動費用等(14億円)により増加、賃借料・減価償却費で前年の特損振替(6億円)等により増加。

上段：金額  
下段：（率）

（単位：億円）

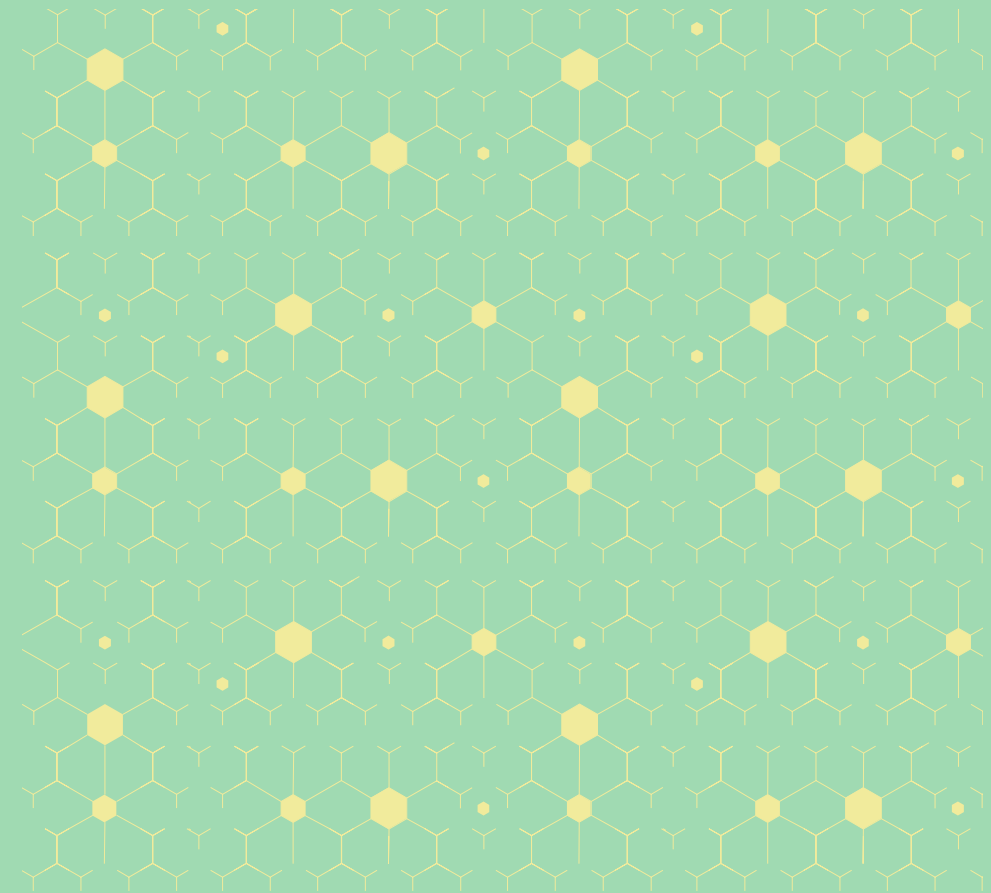


## 2. 2022年12月期 第3四半期連結経営成績（カテゴリー別）

9

✓カテゴリー別連結売上高

✓カテゴリー別業績



# カテゴリー別連結売上高

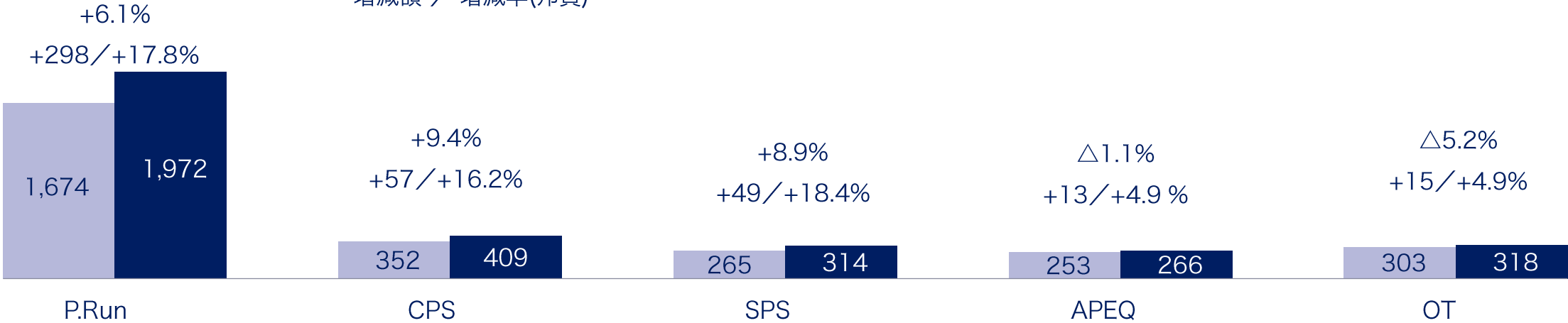
- ✓ 全カテゴリーで増収となり、特にP.Run、CPS、SPSは前年同期比2桁増収。
- ✓ 第3四半期3ヶ月期間は、P.Run+25.8%、CPS+47.6%、SPS+36.9%、OT+30.4%が大幅増収。

## <売上高>

為替影響除く増減率  
増減額 / 増減率(邦貨)

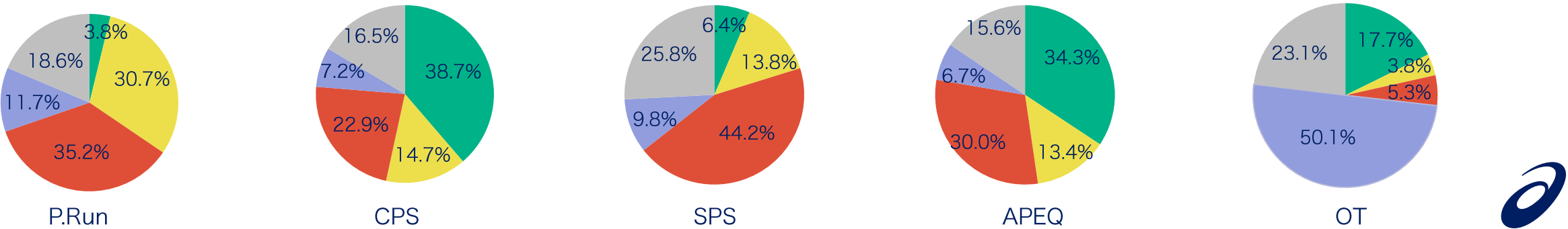
■ FY21 Q3 ■ FY22 Q3

(単位：億円)



## <カテゴリー別地域別売上高構成>

■ 日本 ■ 北米 ■ 欧州 ■ 中華圏 ■ その他



※一時的イベントにおける影響を除いた数値を表記しております。



# カテゴリー利益等一覧（前年同期比）

11

- ✓ 売上高は、全カテゴリーで増収.
- ✓ カテゴリー外コストは、為替影響や人件費の増加等により、前年同期比プラス.

(単位：億円)

|           | P.Run           | CPS          | SPS          | APEQ         | OT           | Others       | TTL             |
|-----------|-----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-----------------|
| 売上高       | 1,972<br>(+298) | 409<br>(+57) | 314<br>(+49) | 266<br>(+13) | 318<br>(+15) | 351<br>(△24) | 3,630<br>(+408) |
| カテゴリー利益   | 439<br>(+39)    | 82<br>(+16)  | 53<br>(+6)   | △5<br>(△5)   | 64<br>(+10)  |              |                 |
| カテゴリー外コスト |                 |              |              |              |              |              | 257<br>(+52)    |
| 連結営業利益    |                 |              |              |              |              |              | 360<br>(+3)     |

( )内は前年同期比



# パフォーマンスランニング (P.RUN)



METASPEED  
SKY+



MAGIC SPEED2  
EKIDENコレクション

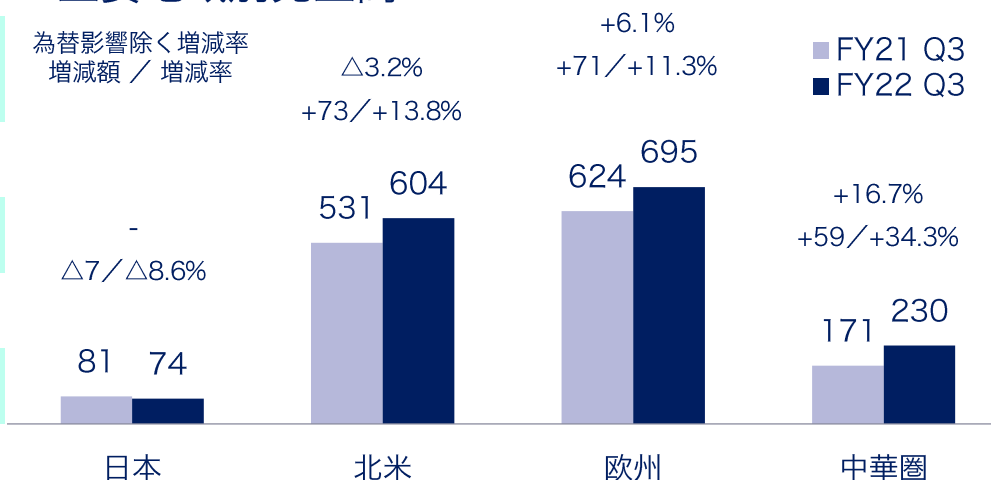
## <第3四半期業績>

|          | FY21 Q3 | FY22 Q3 | 前年同期比 |         |
|----------|---------|---------|-------|---------|
|          |         |         | 増減額   | 増減率     |
| 売上高      | 1,674   | 1,972   | +298  | +17.8%  |
| 為替影響除く増減 |         | 1,775   | +101  | +6.1%   |
| カテゴリー利益  | 400     | 439     | +39   | +9.6%   |
| カテゴリー利益率 | 23.9%   | 22.3%   | -     | △1.6ppt |

※一時的イベントにおける影響を除いた数値を表記しております。

## <主要地域別売上高>

(単位：億円)



## 売上高

- ◆ 前年同期比2桁増収となり、計画も超過。特に中華圏+34.3%やオセアニア+31.1%、東南・南アジア+56.0%が高成長。
- ◆ 第3四半期3ヶ月期間は+25.8%。中華圏は新型コロナウイルスによる行動規制があったものの、同期間に+51.4%。
- ◆ METASPEED着用選手の活躍等もあり、MAGIC SPEEDは前年同期比1.8倍に伸長。ボリュームゾーンのシェア獲得。

## カテゴリー利益

- ◆ 前年同期比増益となり、計画は大幅に上回る。
- ◆ 物流費等の製造関連コストが大幅に上昇するも、チャネルミックスの良化等により、粗利率は48.4%(前年同期比+0.1ppt)。

## 今後の取組み

- ◆ 第4四半期3ヶ月期間は、前年同期比+50%超の成長を見込む。あらゆるランナーのニーズに応えるべく、商品ラインナップを充実。若者を中心に拡大しているNOVABLASTを、GEL-KAYANOやGEL-NIMBUS等の主力に次ぐ柱に。
- ◆ 日本ではアールビーズを加え、ランニングエコシステム構築を加速。東京レガシーハーフマラソン等のリアルイベントや、11月開催のバーチャル駅伝レース ASICS World Ekiden 2022を通じ、リアル・バーチャル双方で顧客接点を拡大。



# コアパフォーマンススポーツ (CPS)



バレーボールシューズ  
NETBURNER  
BALLISTIC FF 3

13

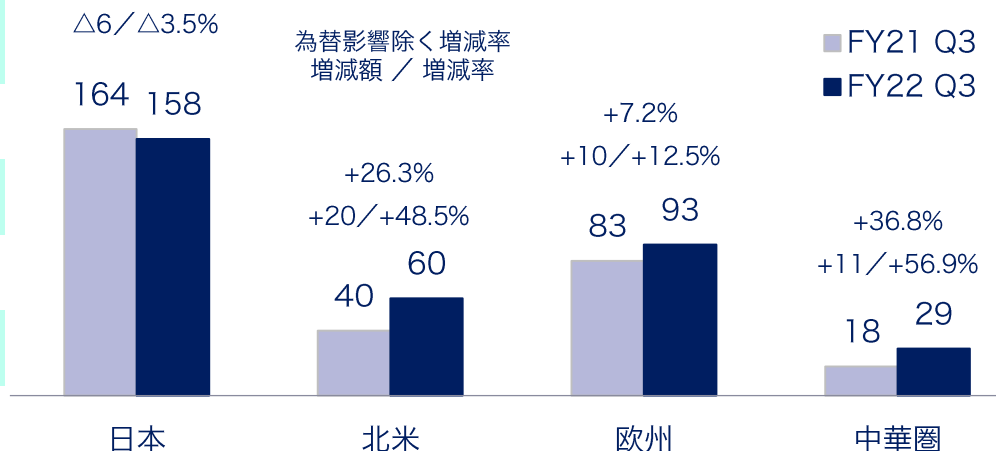
## <第3四半期業績>

|          | FY21 Q3 | FY22 Q3 | 前年同期比 |         |
|----------|---------|---------|-------|---------|
|          |         |         | 増減額   | 増減率     |
| 売上高      | 352     | 409     | +57   | +16.2%  |
| 為替影響除く増減 |         | 385     | +33   | +9.4%   |
| カテゴリー利益  | 66      | 82      | +16   | +24.5%  |
| カテゴリー利益率 | 18.8%   | 20.2%   | -     | +1.4ppt |

※一時的イベントにおける影響を除いた数値を表記しております。

## <主要地域別売上高>

(単位：億円)



## 売上高

- ◆ 日本を除くすべての地域で増収。シェアNo.1 (NPDデータ) となった北米をはじめ各地域でテニスシューズが堅調に推移。
- ◆ 第3四半期3ヶ月期間は、全ての地域で増収となる+47.6%。ファッションショーを実施した日本のワーキングシューズが好調。

## カテゴリー利益

- ◆ 前年同期比で増益に転じ、2桁増益を達成。
- ◆ 粗利率はチャネルミックスによる良化があったものの、物流費の増加等により45.4%(△0.8ppt)。但し、計画は上回る。

## 今後の取組み

- ◆ グローバルでのフォーカスカテゴリーであるテニス・インドアを中心に、主要国際大会と連動した商品訴求を継続的に実施。
- ◆ サッカーの世界大会と連動し、出場する契約選手等を活用したマーケティング活動を展開。
- ◆ 新素材を採用したワーキングシューズの発売で新規顧客へアプローチし、継続的なシェア拡大を図る。



# スポーツスタイル (SPS)



GEL-QUANTUM 180 VII

14

## <第3四半期業績>

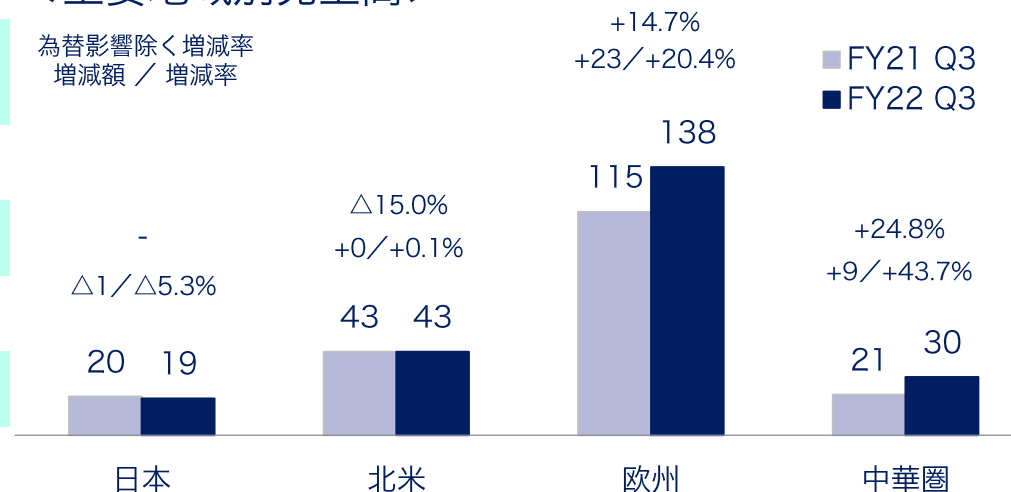
|          | FY21 Q3 | FY22 Q3 | 前年同期比 |         |
|----------|---------|---------|-------|---------|
|          |         |         | 増減額   | 増減率     |
| 売上高      | 265     | 314     | +49   | +18.4%  |
| 為替影響除く増減 |         | 288     | +23   | +8.9%   |
| カテゴリー利益  | 47      | 53      | +6    | +13.2%  |
| カテゴリー利益率 | 17.8%   | 17.0%   | -     | △0.8ppt |

※一時的イベントにおける影響を除いた数値を表記しております。

## <主要地域別売上高>

為替影響除く増減率  
増減額 / 増減率

(単位：億円)



## 売上高

- ◆ 前年同期比プラス、計画も超過。欧州、中華圏、東南・南アジアでは、2桁成長。
- ◆ 第3四半期3ヶ月期間では、工場稼働停止による供給制約が解消し前年同期比+36.9%と増収。

## カテゴリー利益

- ◆ 粗利率は、物流費の増加も47.1%(△0.8ppt)に留まる。
- ◆ カテゴリー利益は、中華圏、東南・南アジアでの増収により、前年同期比、計画比共に増益。

## 今後の取組み

- ◆ 引き続き利益体質強化に向けた高粗利率商品シフトや主力商品の値上げを実施。
- ◆ 温室効果ガス排出量が最少のスニーカー「GEL-LYTE™ III CM 1.95」を2023年に発売予定。
- ◆ 自社ECサイトにコラボレーション商品や限定商品を確認できる新機能「SPORTSTYLE発売カレンダー」をリリース。



# アパレル・エキップメント (APEQ)



EKIDENコレクション

15

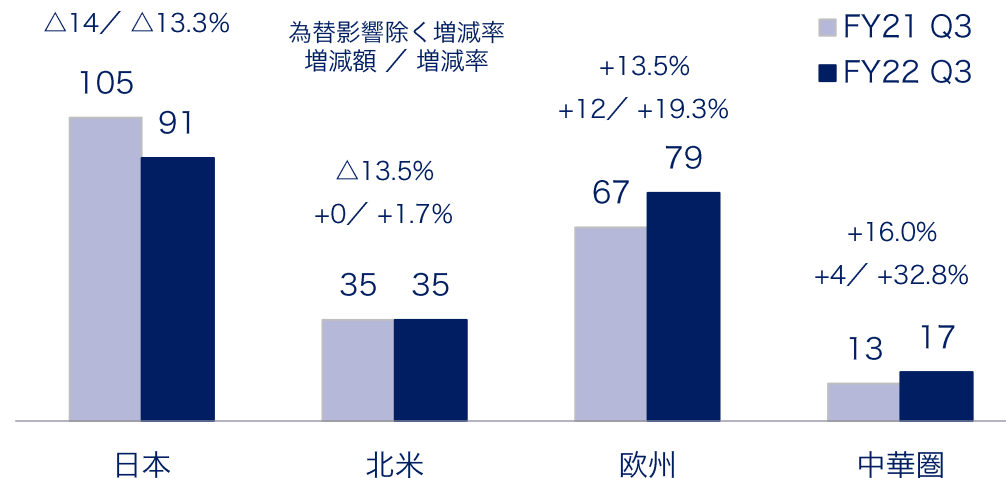
## <第3四半期業績>

|          | FY21 Q3 | FY22 Q3 | 前年同期比 |         |
|----------|---------|---------|-------|---------|
|          |         |         | 増減額   | 増減率     |
| 売上高      | 253     | 266     | +13   | +4.9%   |
| 為替影響除く増減 |         | 251     | △2    | △1.1%   |
| カテゴリー利益  | △0      | △5      | △5    | -       |
| カテゴリー利益率 | △0.3%   | △2.2%   | -     | △1.9ppt |

※一時的イベントにおける影響を除いた数値を表記しております。

## <主要地域別売上高>

(単位：億円)



## 売上高

- ◆ 欧州、オセアニアは好調であったものの、低調な日本の減収により、全体では為替影響を除くと減収。
- ◆ 第3四半期3ヶ月期間は、前年比+9.1%と増収。

## カテゴリー利益

- ◆ 日本の減益により全体で減益。
- ◆ 粗利率は、北米、欧州で改善し43.3%(+1.2ppt)ながらも減益。

## 今後の取組み

- ◆ 北米を中心に、在庫適正化の強化を進め、収益性の改善を目指す。
- ◆ ランニング・トレーニングへの経営資源集中。
- ◆ 11月に開催されるASICS World Ekiden 2022のコンセプトを基に、タスキをデザインしたEKIDENコレクションをシューズと連動展開し、販売強化する。



# オニツカタイガー (OT)

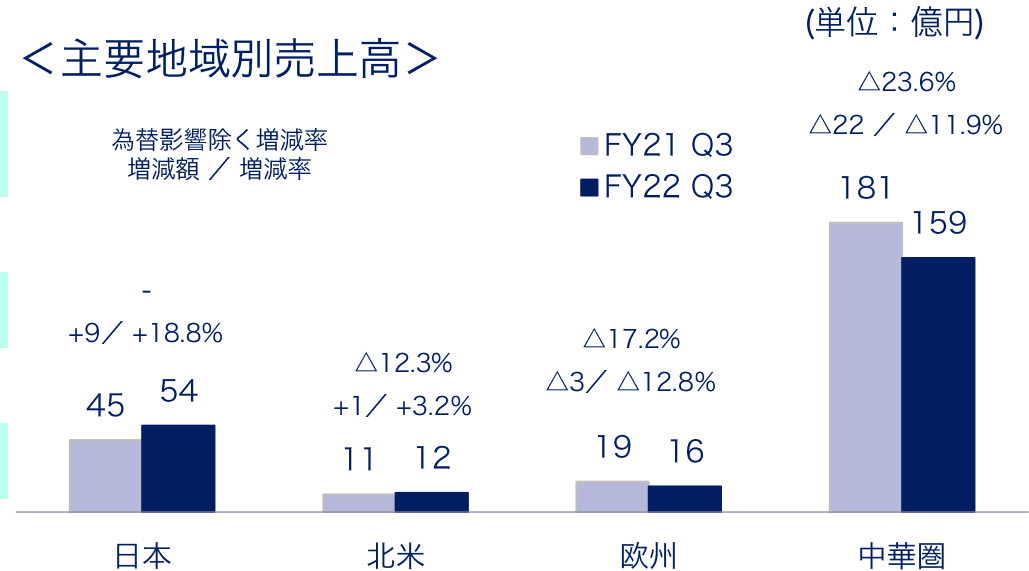


DELEGATION CHUNK BOOTS

## <第3四半期業績>

|          | FY21 Q3 | FY22 Q3 | 前年同期比 |         |
|----------|---------|---------|-------|---------|
|          |         |         | 増減額   | 増減率     |
| 売上高      | 303     | 318     | +15   | +4.9%   |
| 為替影響除く増減 |         | 288     | △15   | △5.2%   |
| カテゴリ利益   | 54      | 64      | +10   | +17.6%  |
| カテゴリ利益率  | 17.9%   | 20.1%   | -     | +2.2ppt |

## <主要地域別売上高>



## 売上高

- ◆ 東南・南アジアが前年同期比2倍超と好調。日本も増収、但し中国主要都市での新型コロナウイルスの行動規制が影響し、全体では為替影響を除くと減収。
- ◆ 第3四半期3ヶ月期間では、日本で前年同期比+32.0%、中華圏においても+16.6%と回復傾向。

## カテゴリ利益

- ◆ 東南・南アジアや日本が、中華圏でのマイナスをカバーし増益。
- ◆ DTCシェア拡大、値引き抑制により粗利率は63.3%(+2.5ppt)。

## 今後の取組み

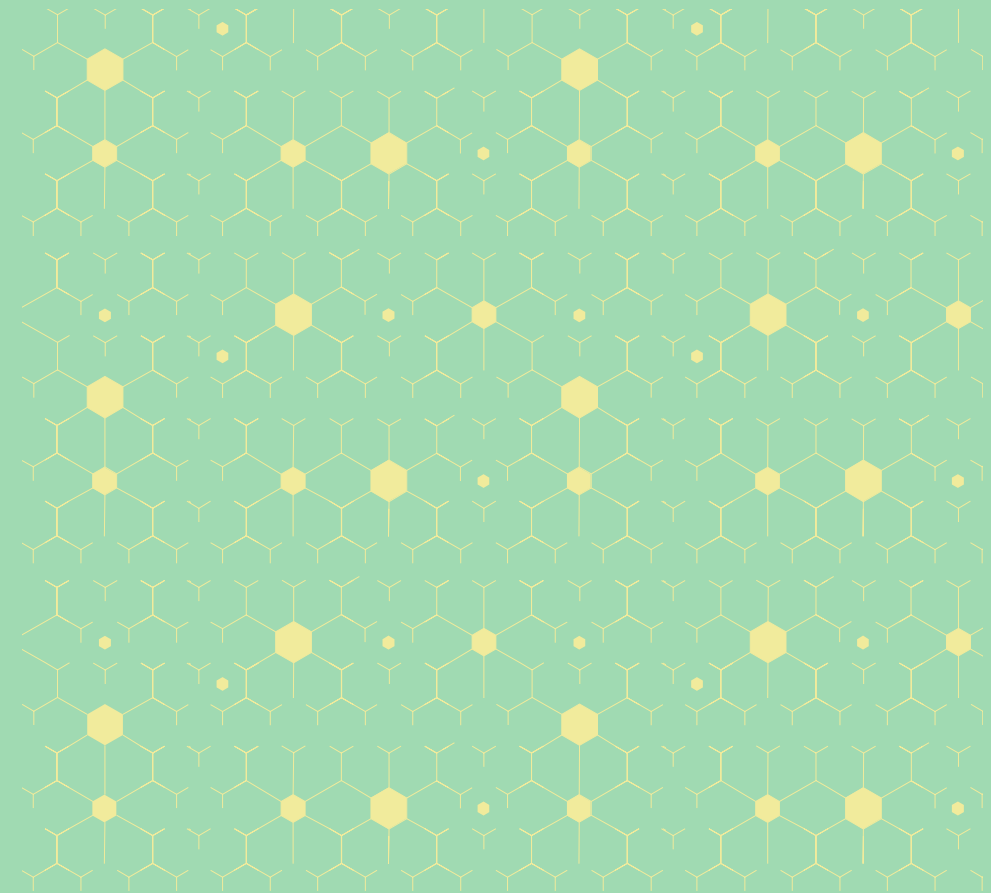
- ◆ アジア圏を中心に、引き続き好立地での新規出店を計画。
- ◆ 環境に配慮したサボテン由来の素材を採用したシューズを発表。認知度と企業価値を向上。
- ◆ 回復基調にあるインバウンド需要を取り込む。



# 3. 2022年12月期 第3四半期連結経営成績（地域別）

17

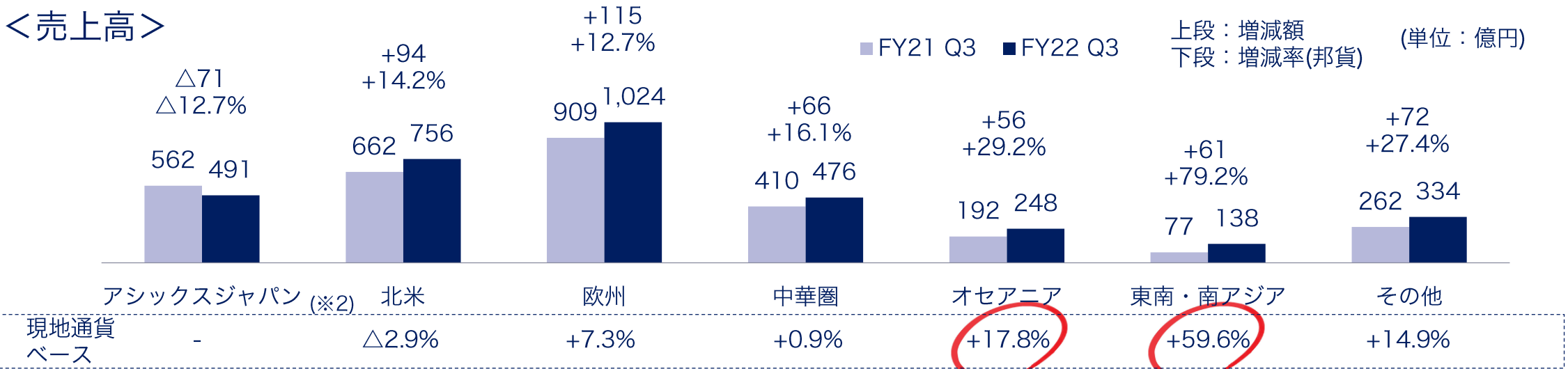
- ✓地域別連結売上高およびカテゴリー構成
- ✓連結営業利益内訳（地域別）
- ✓チャネル別売上高
- ✓月別・四半期別売上高



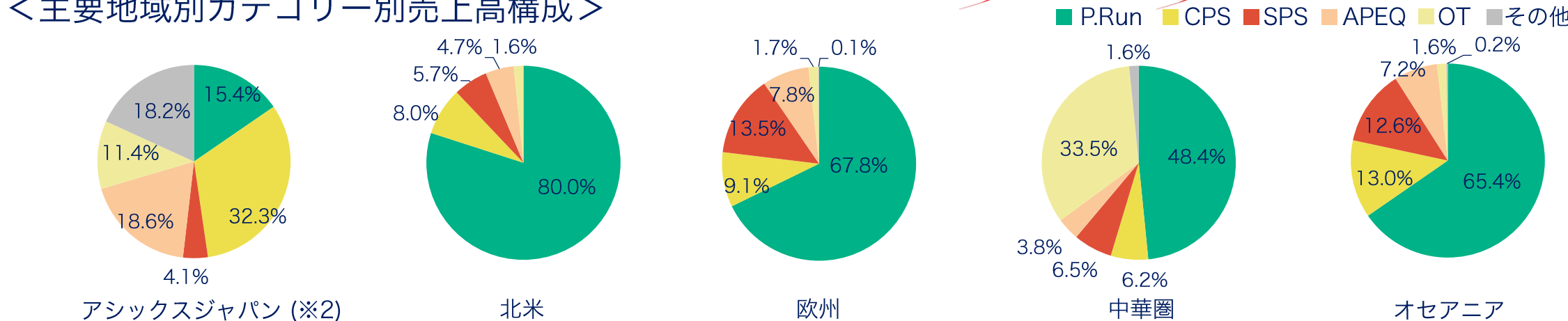
# 地域別連結売上高およびカテゴリー構成

- ✓ オセアニアでは前年同期比2桁の成長、東南・南アジアでは前年同期比約60%の大幅伸長。
- ✓ 新型コロナウイルス感染拡大前の2019年比でも、北米（+32%※1）、欧州（+43%）、中華圏（+60%）、オセアニア（+96%）、東南・南アジア（+56%）は大幅に増収。

## <売上高>



## <主要地域別カテゴリー別売上高構成>



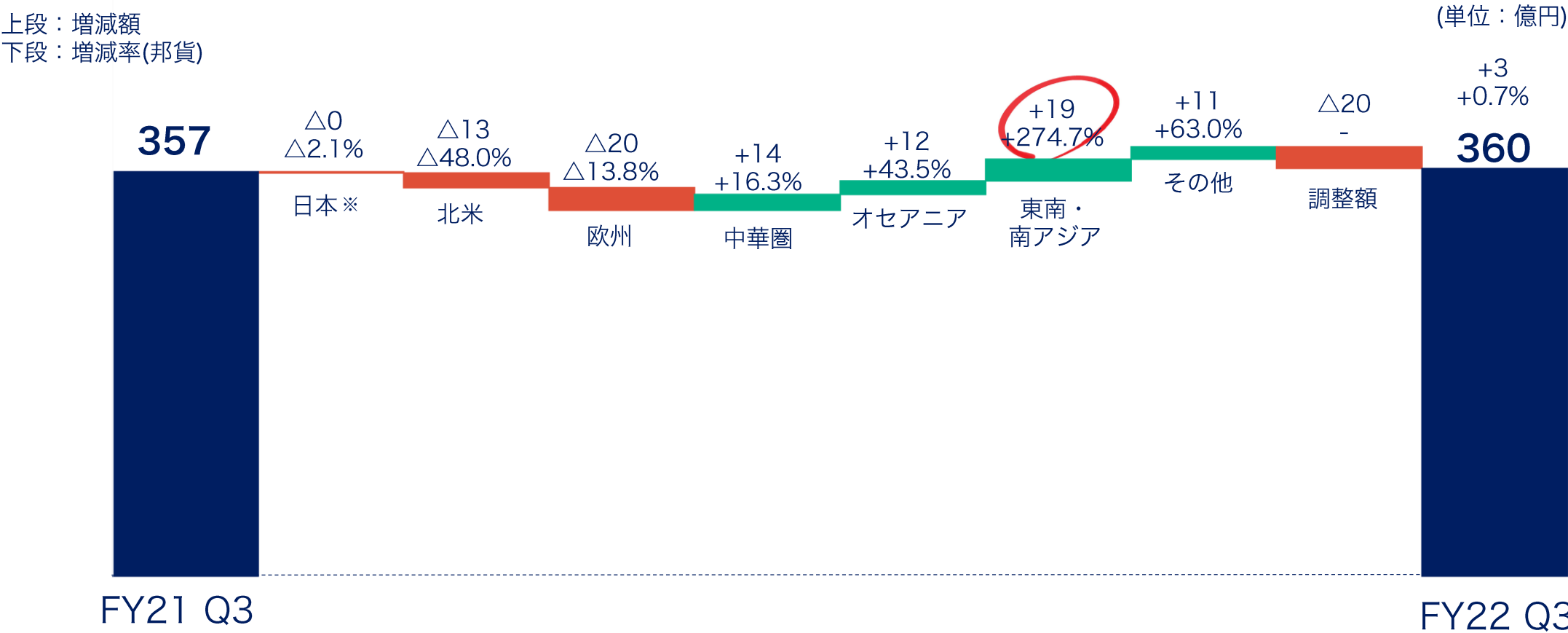
※1 グループ内売上を除く実績と比較しております。

※2 日本地域には、他の地域にはない主要5カテゴリー以外を販売する会社の売上も含まれております。よって、この決算補足説明資料においては、他の地域との比較可能性を考え、2022年12月期 第1四半期よりアシックスジャパンとしております。なお、日本地域における売上は、前期 863億円、当期 891億円であり、詳細につきましては決算短信に記載しております。



# 連結営業利益内訳（地域別）

- ✓ 米欧での物流費の高騰があったものの、東南・南アジア、オセアニアの順調な成長により、前年比増益。計画比は大幅に上回る。
- ✓ 新型コロナウイルス感染拡大前の2019年比で増益。地域別では、北米は黒字に転換し、欧州、中華圏、オセアニア、東南・南アジアは2倍超の増益を達成。



※ 日本は国内から海外（主に海外子会社）への取引を含んでおります。  
※※ 2022年12月期第三四半期よりセグメント情報との整合を図るため、為替影響を含む増減へと変更しております。



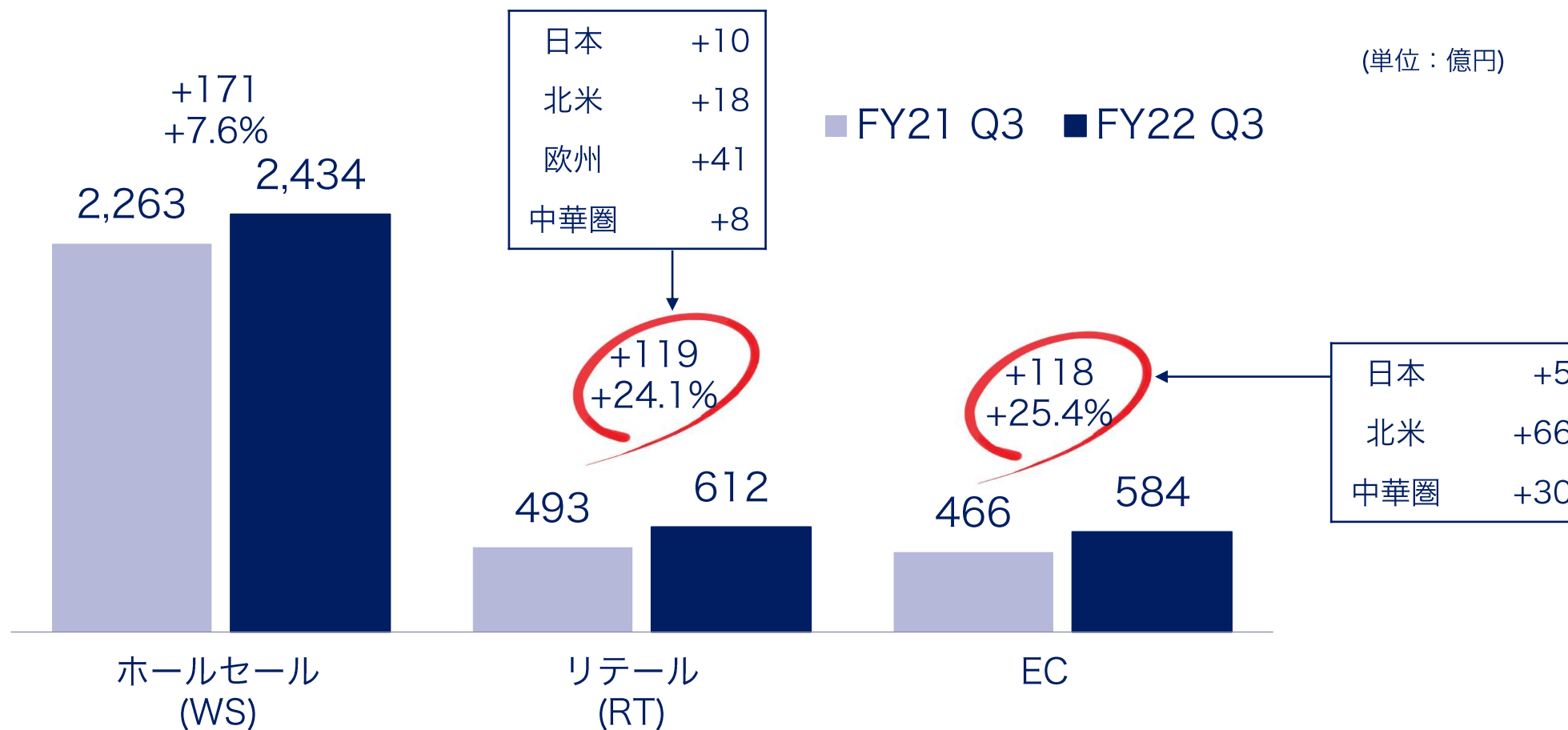
# チャネル別売上高

20

- ✓ 上海等での新型コロナウイルスによる行動制限があるも、リテールは20%超の成長.
- ✓ 新型コロナウイルス感染拡大前の2019年比でECは3倍超へ増収.

上段：増減額  
下段：増減率

(単位：億円)



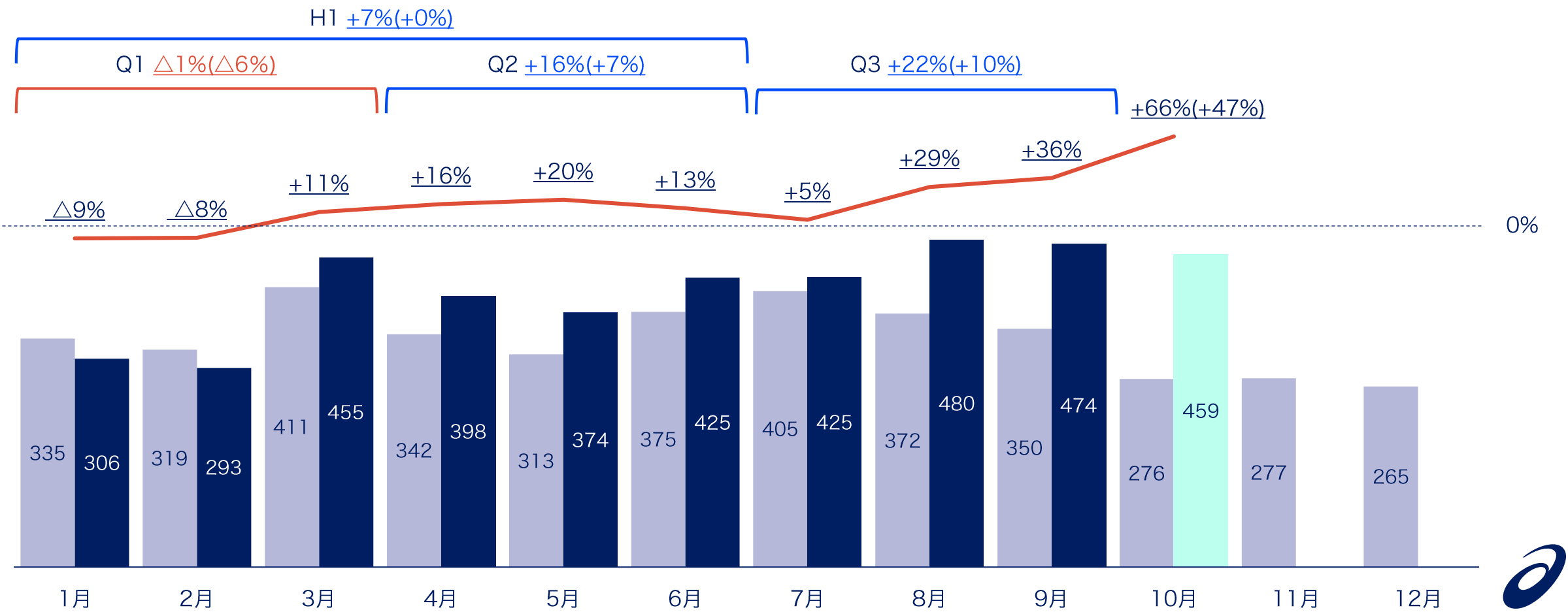
※自社ECサイトとマーケットプレイスはECに含み、ホールセールEリテラーはホールセールに含んでおります。



# 連結売上高（月別・四半期別）

■ FY2022    ■ 売上速報  
■ FY2021    — FY2021比%(為替影響を除く増減率)    (単位：億円)    21

- ✓ 各地での物流の混乱影響等により1月・2月は前年を下回るも、3月以降は増収が続く。
- ✓ 前年10月単月は生産影響で売上が低かったこと、及び各地域で好調に推移し前年比+66%。為替を除いても+47%の成長。



※ 2022年10月の売上高は速報データに基づいているため、確定データとは差異が生じることがあります。



# 主要4地域の売上高（月別・四半期別）

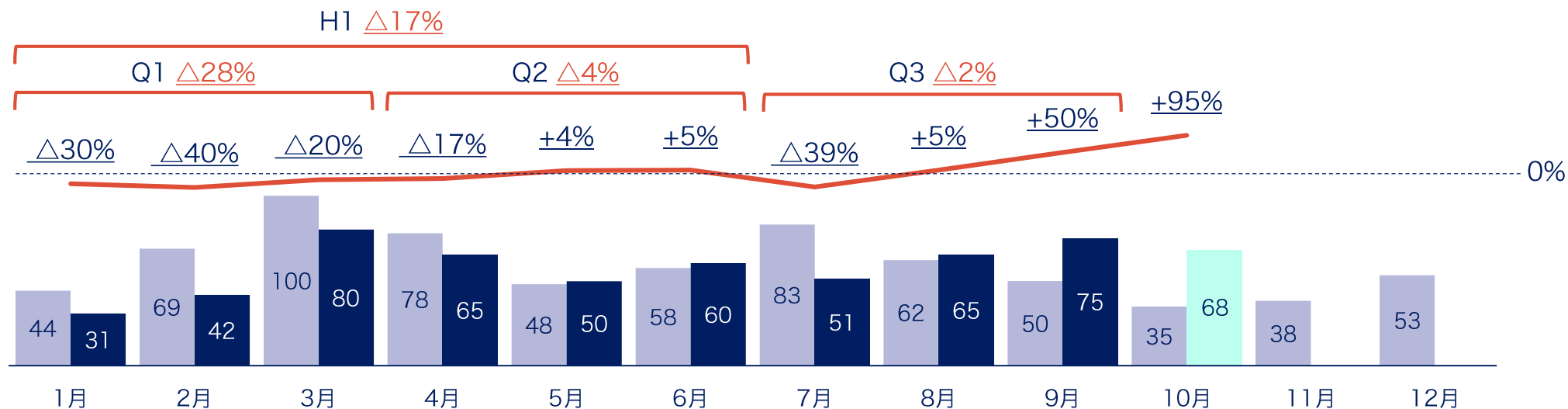
■ FY2022  
■ FY2021

■ 売上速報  
— FY2021比%(為替影響除く増減率)

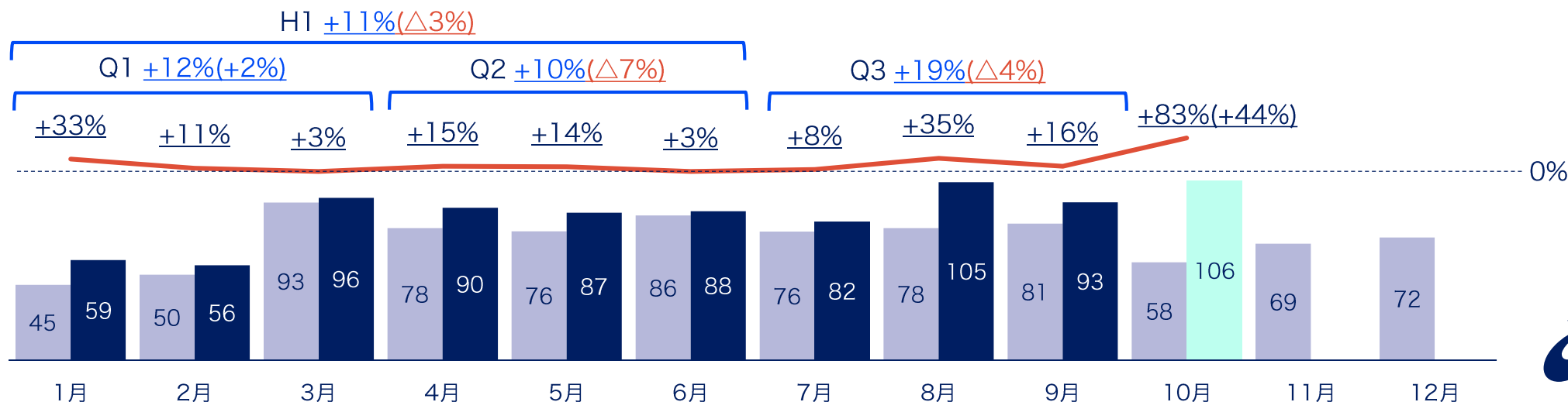
(単位：億円) 22

- ✓ 日本：商品不足が続いていたが、5月から回復傾向。第3四半期3ヶ月期間は前年の一時的影響があるもほぼ前年並み、10月単月は+95%。
- ✓ 北米：アメリカ国内での物流の混乱が続いているものの、10月単月は+83%。現地通貨ベースでも+44%の伸長。

## 日本 ※1



## 北米



※1 アシックス商事を除く、日本地域の売上高となります。

※2 2022年10月の売上高は速報データに基づいているため、確定データとは差異が生じる場合があります。



# 主要4地域の売上高（月別・四半期別）

■ FY2022  
■ FY2021

■ 売上速報

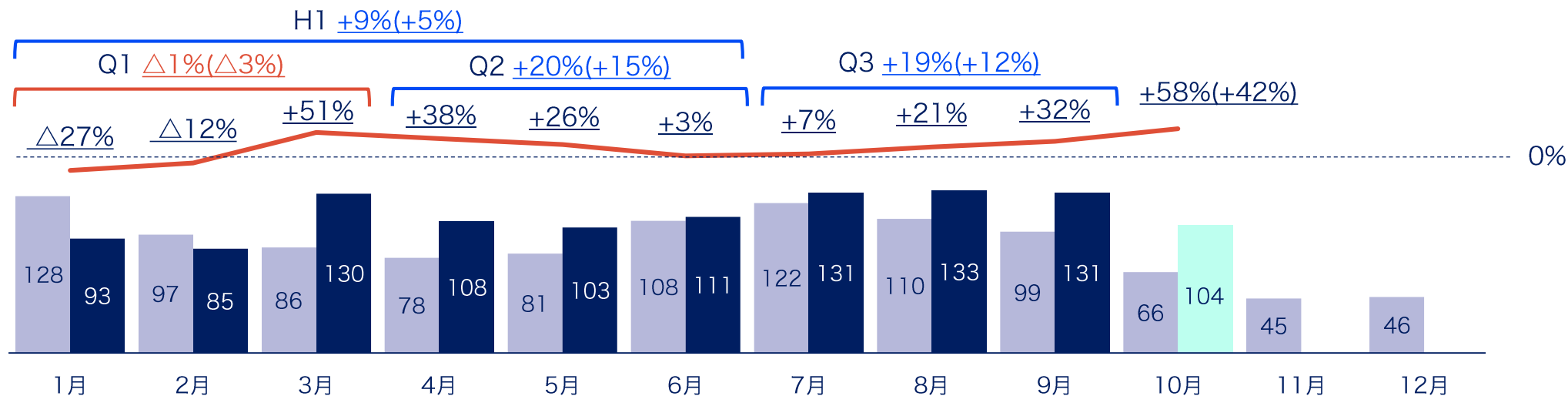
— FY2021比% (為替影響除く増減率)

(単位：億円)

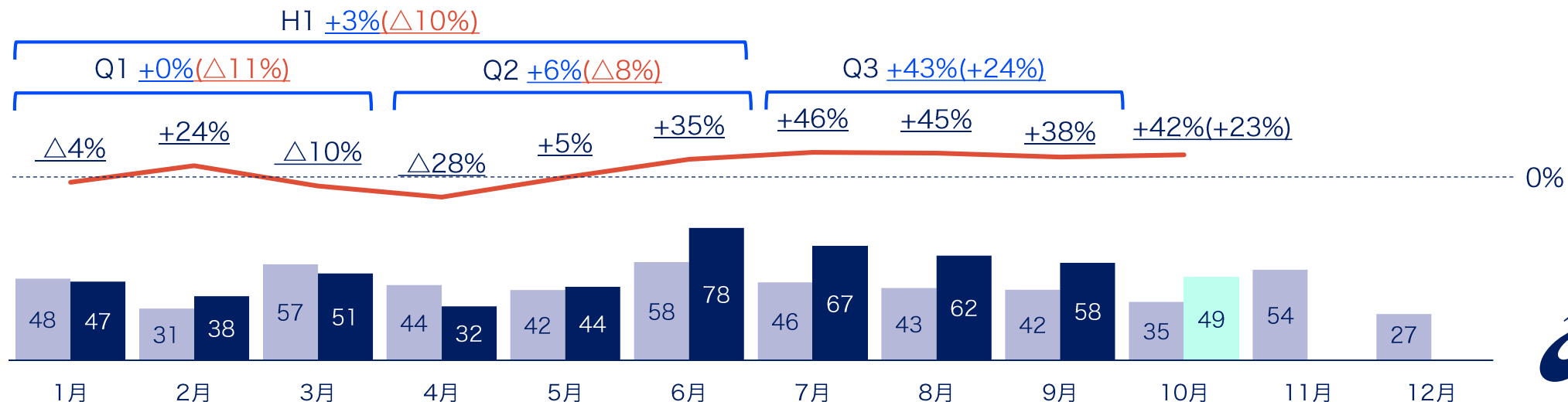
23

- ✓ 欧州：商品不足と物流の混乱により2月までは前年を下回るも、3月以降前年比プラスに転じ、10月単月も+58%。現地通貨ベースでも+42%。
- ✓ 中華圏：第3四半期3ヶ月期間+43%に続き、10月単月も+42%の増収。現地通貨ベースでも+23%。

## 欧州



## 中華圏



※ 2022年10月の売上高は速報データに基づいているため、確定データとは差異が生じることがあります。

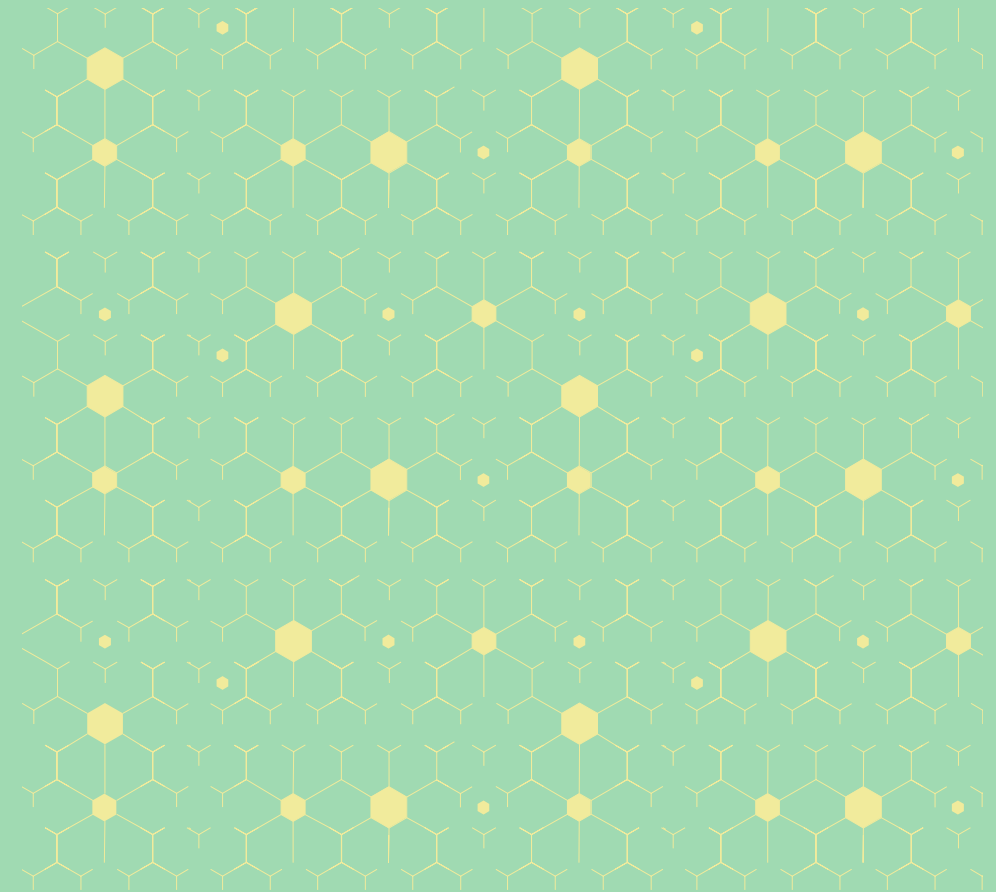


# 4. 2022年12月期 第3四半期連結財政状態

24

✓連結貸借対照表

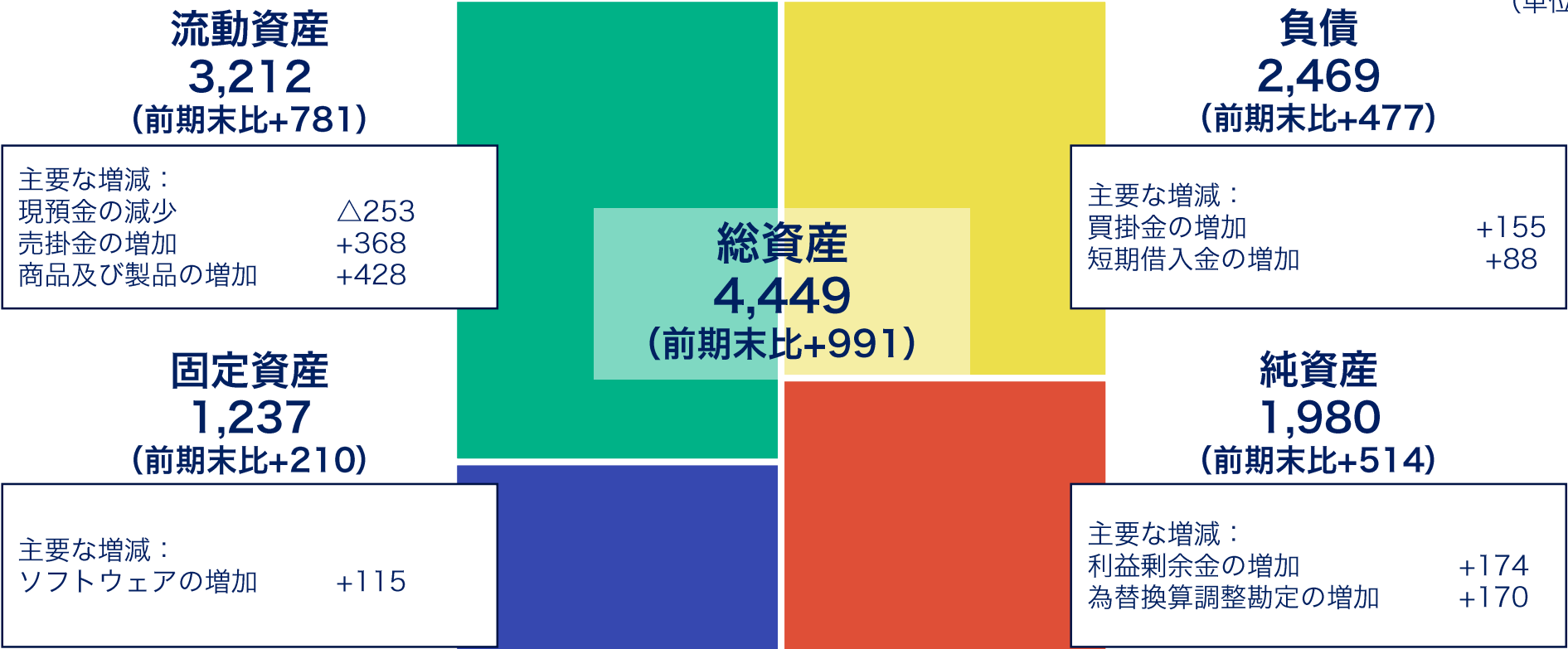
✓2022年12月期第3四半期 ROAツリー分解



# 連結貸借対照表

- ✓ 第2四半期までの売掛金は順調に回収が進む中、第3四半期においても好調な売上が継続し売掛金が増加.
- ✓ 第3四半期末在庫(1,250億円)は為替影響(+139億円)、会計方針の変更(+23億円)、前期末在庫残高(800億円)が生産混乱の影響を受け通常より低水準だったこともあり、前期末比450億円増加.
- ✓ 自己資本比率は前期末比で2ppt改善の44.2%.

(単位：億円)



自己資本比率：44.2%  
(前期末：42.2%)



# 2022年12月期第3四半期 ROAツリー分解

26

- ✓ 粗利率は、為替影響や物流費の高騰があったものの、チャネルミックスの良化等で前年同期比同水準と健闘。
- ✓ 総資産は円安影響等を受け増加したものの、それを上回る四半期純利益の増益により、ROAは7.8%と昨年より良化。

<前年同期比>

FY21 Q3 : 3,222億円  
FY22 Q3 : 3,630億円

FY21 Q3 : 1,609億円  
FY22 Q3 : 1,815億円

FY21 Q3 : 423億円  
FY22 Q3 : 491億円

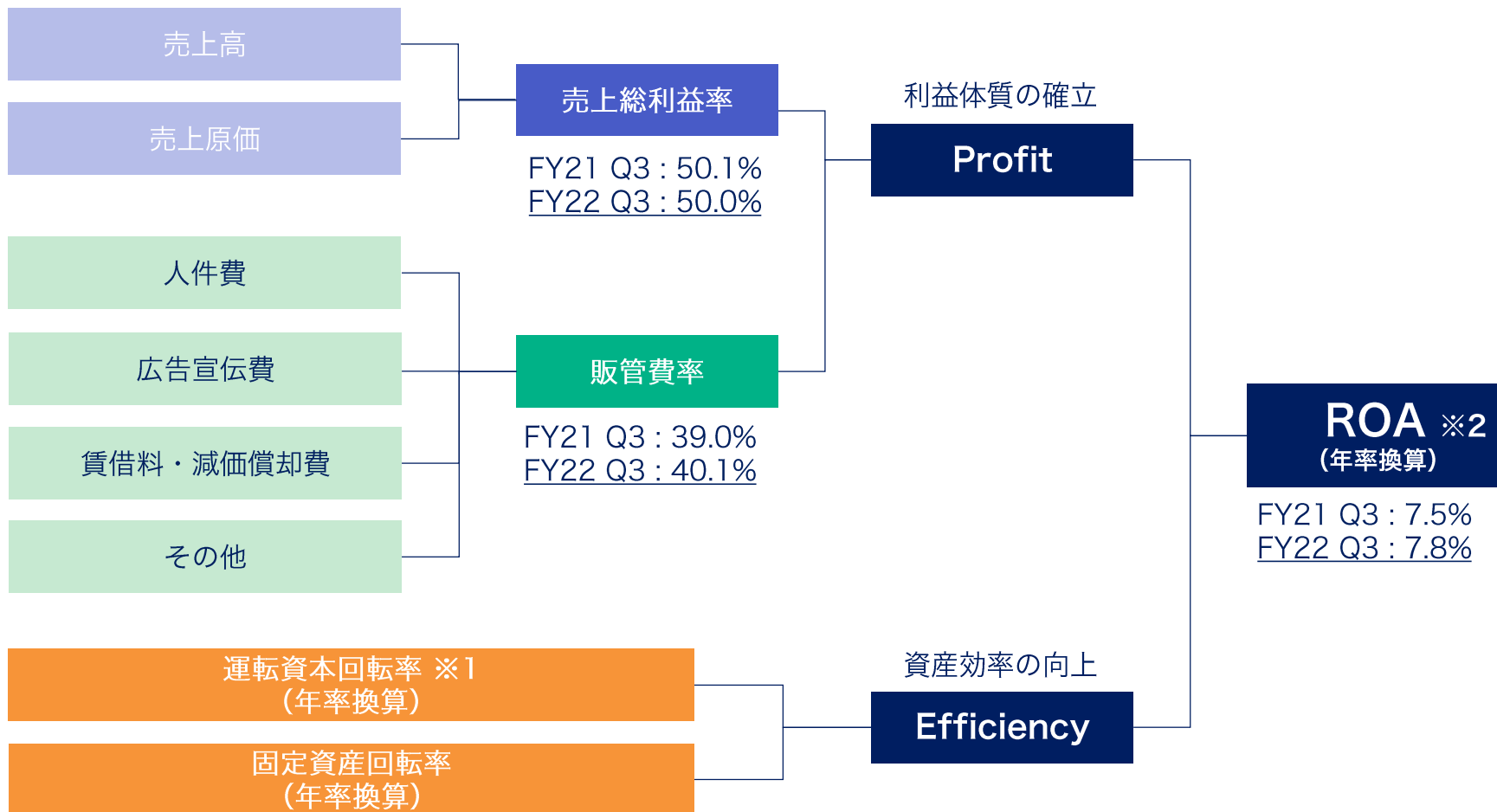
FY21 Q3 : 207億円  
FY22 Q3 : 223億円

FY21 Q3 : 182億円  
FY22 Q3 : 203億円

FY21 Q3 : 443億円  
FY22 Q3 : 538億円

FY21 Q3 : 3.3回  
FY22 Q3 : 2.9回

FY21 Q3 : 4.4回  
FY22 Q3 : 3.9回



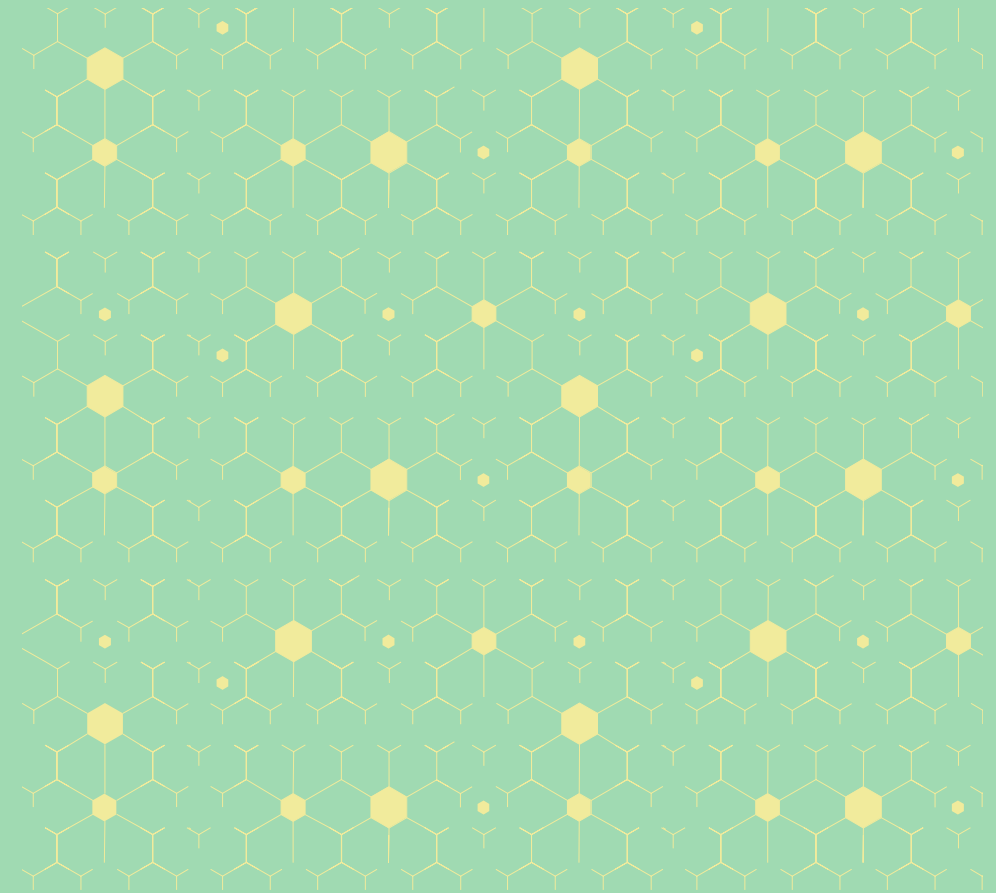
※1 社内目標として運転資本を設定しているため流動資産回転率ではなく運転資本回転率を記載しております。

※2 ROA (年率換算) =  $\frac{2022年12月期第3四半期純利益}{(2021年12月期期末総資産 + 2022年12月期第3四半期末総資産) \div 2} \times \frac{4}{3}$



# 5.2022年12月期 連結業績予想

27



# 2022年12月期 連結業績予想

| (単位：億円)             | 2022年<br>前回予想 | 2022年<br>今回予想 | 増減      | 2021年<br>実績 | 前期比     |
|---------------------|---------------|---------------|---------|-------------|---------|
| 売上高                 | 4,600         | 4,800         | +4.3%   | 4,040       | +18.8%  |
| 営業利益                | 270           | 340           | +25.9%  | 219         | +54.9%  |
| 営業利益率               | 5.9%          | 7.1%          | +1.2ppt | 5.4%        | +1.7ppt |
| 経常利益                | 260           | 320           | +23.1%  | 221         | +44.4%  |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 180           | 210           | +16.7%  | 94          | +123.3% |

|      |       |       |       |
|------|-------|-------|-------|
| 配当金  | 中間    | 期末    | 通期    |
| 前回予想 | 16.0円 | 16.0円 | 32.0円 |
| 今回予想 | 16.0円 | 16.0円 | 32.0円 |

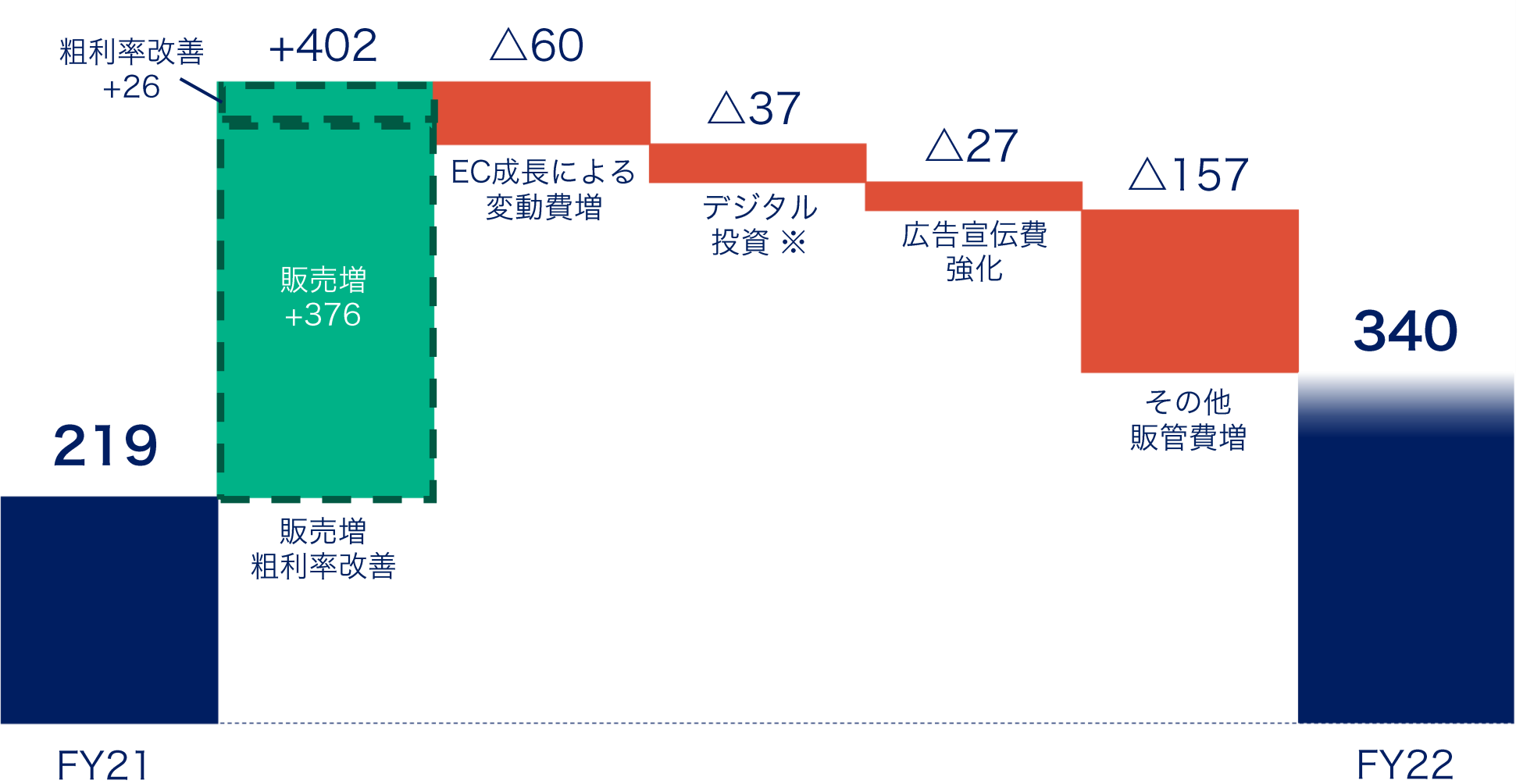
|       |         |         |        |
|-------|---------|---------|--------|
| 為替レート | USD     | EUR     | RMB    |
| 前回予想  | 125.00円 | 132.00円 | 19.00円 |
| 今回予想  | 132.00円 | 138.00円 | 19.50円 |

- ✓ パフォーマンスランニングに加えてコアパフォーマンススポーツでも好調な推移が見込まれ、売上高・利益共に上方修正. 売上高、営業利益は過去最高となる見通し.
- ✓ 現状の為替市場を勘案した為替レートの見直し.



# 2022年12月期 連結営業利益予想増減：要素別

(単位：億円)



※ ASICS DIGITAL・Race Rosterにおける人件費・経費増



# 2022年12月期 連結業績予想：カテゴリー別

30

| (単位：億円) |         | 2022年<br>前回予想 | 2022年<br>今回予想 | 増減   | 2021年<br>実績 | 前期比  |
|---------|---------|---------------|---------------|------|-------------|------|
| P.Run   | 売上高     | 2,540         | <b>2,610</b>  | +3%  | 2,082       | +25% |
|         | カテゴリー利益 | 480           | <b>500</b>    | +4%  | 426         | +17% |
| CPS     | 売上高     | 465           | <b>515</b>    | +11% | 413         | +25% |
|         | カテゴリー利益 | 60            | <b>80</b>     | +33% | 50          | +60% |
| SPS     | 売上高     | 375           | <b>410</b>    | +9%  | 332         | +23% |
|         | カテゴリー利益 | 50            | <b>55</b>     | +10% | 43          | +28% |
| APEQ    | 売上高     | 345           | <b>345</b>    | -    | 341         | +1%  |
|         | カテゴリー利益 | △5            | <b>△5</b>     | -    | △1          | -    |
| OT      | 売上高     | 445           | <b>425</b>    | △4%  | 385         | +10% |
|         | カテゴリー利益 | 65            | <b>65</b>     | -    | 48          | +34% |



# 2022年12月期 連結業績予想：地域別

31

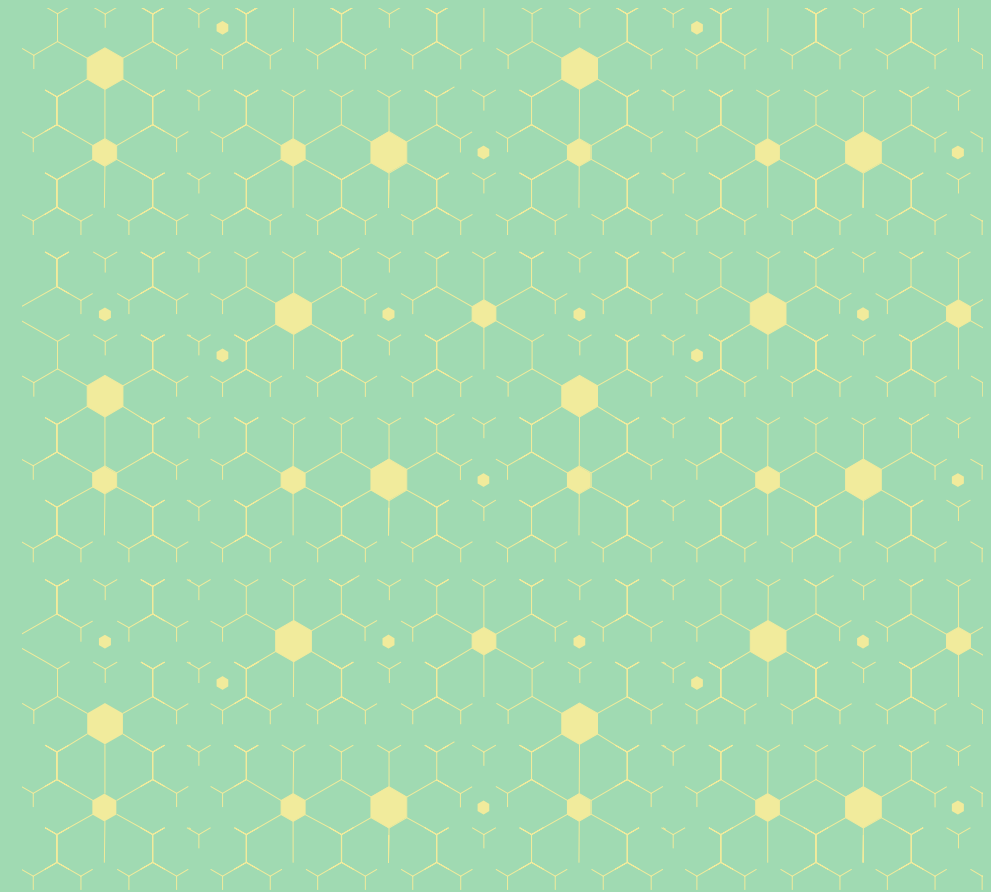
| (単位：億円)       |      | 2022年<br>前回予想 | 2022年<br>今回予想 | 増減   | 現地通貨<br>ベースの<br>増減 | 2021年<br>実績 | 前期比   | 現地通貨<br>ベースの<br>増減 |
|---------------|------|---------------|---------------|------|--------------------|-------------|-------|--------------------|
| 日本 地域         | 売上高  | 1,110         | <b>1,200</b>  | +8%  | -                  | 1,099       | +9%   | -                  |
|               | 営業利益 | 40            | <b>45</b>     | +13% | -                  | 11          | +277% | -                  |
| 北米 地域         | 売上高  | 1,060         | <b>1,070</b>  | +1%  | △4%                | 861         | +24%  | +3%                |
|               | 営業利益 | 0             | <b>10</b>     | -    | -                  | 8           | +18%  | △4%                |
| 欧州 地域         | 売上高  | 1,235         | <b>1,290</b>  | +4%  | 0%                 | 1,066       | +21%  | +14%               |
|               | 営業利益 | 105           | <b>110</b>    | +4%  | 0%                 | 108         | +1%   | △5%                |
| 中華圏 地域        | 売上高  | 635           | <b>625</b>    | △2%  | △4%                | 525         | +19%  | +4%                |
|               | 営業利益 | 95            | <b>95</b>     | -    | △3%                | 91          | +4%   | △9%                |
| オセアニア 地域      | 売上高  | 295           | <b>330</b>    | +12% | +12%               | 247         | +33%  | +22%               |
|               | 営業利益 | 40            | <b>50</b>     | +25% | +25%               | 33          | +49%  | +37%               |
| 東南・南アジア<br>地域 | 売上高  | 160           | <b>170</b>    | +6%  | +6%                | 109         | +56%  | +41%               |
|               | 営業利益 | 20            | <b>25</b>     | +25% | +25%               | 9           | +159% | +135%              |



# 6.その他

32

- ✓インベストメントデイ（テーマ：ランニングエコシステム）
- ✓サステナビリティにおける取組み
- ✓IRカレンダー



# インベストメントデイ（テーマ：ランニングエコシステム）

33

- ✓ デジタル戦略の全体像紹介.
- ✓ レースロースターやアールビーズのトップからも登壇.



# サステナビリティにおける取り組み

- ✓ 事業活動を通じたサステナブルな社会を実現する.
- ✓ 世界の人々の心身の健康とスポーツができる環境を守ることに貢献する.

＜基本方針＞

- ① サプライチェーン上の人権を尊重する
- ② 2030年CO<sub>2</sub>削減目標  
(事業所およびサプライチェーン)

BUSINESS  
AMBITION FOR

1.5°C

OUR ONLY  
FUTURE

63%削減 (2015年比)

| People (人と社会への貢献)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | Planet (環境への配慮)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 開示・外部評価など                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>✓ 国連の”ビジネスと人権に関する指導原則”、OECDの”多国籍企業行動指針”、ILO（国際労働機関）の”多国籍企業宣言”に基づき、アシックス人権方針を策定.</div> <div>✓ 新たに人権委員会を設置.</div> <div><div>ガバナンス体制</div><div><div>執行機関</div><div><div>経営会議<br/>社 長</div><div>執行役員</div><div>各部門・各グループ会社</div></div></div><div><div>サステナビリティ委員会</div><div>リスクマネジメント委員会</div><div>コンプライアンス委員会</div><div>情報セキュリティ委員会</div><div>情報開示委員会</div><div>人 権 委 員 会</div><div>知 財 戦 略 委 員 会</div><div>投 資 委 員 会</div><div>人 事 委 員 会</div></div></div> | <div>✓ 温室効果ガス排出量が最少のスニーカー「GEL-LYTE™ III CM 1.95」を開発.カーボン・ネガティブ・フォームの開発等、16の施策により排出量を1.95kgに抑制.</div> <div>✓ デジタル設計と3Dプリント技術を活用した「ACTIBREEZE 3D SANDAL」を開発.</div> <div><div></div><div></div></div> | <div>✓ 統合報告書2021を発行.</div> <div>✓ 世界の主流ファッションブランドと小売業者250社が対象の、社会的・環境的な方針と実践、その影響をどの程度開示しているかランク付けした「Fashion Transparency Index」にて43位にランクイン.</div> <div><div></div></div> |

| 主な予定                 |            |                |                                  |
|----------------------|------------|----------------|----------------------------------|
| 2022年12月期<br>第3四半期決算 | 11月11日     | 15:00<br>15:30 | 決算発表<br>決算説明会 機関投資家、アナリスト、報道機関向け |
| インベストメントデイ           | 11月22日     | 15:00-16:00    | テーマ：ランニングエコシステム                  |
| 2022年12月期決算          | 2023年2月10日 | 15:00<br>15:30 | 決算発表<br>決算説明会 報道機関向け             |
|                      | 2023年2月13日 | 15:00          | 決算説明会 機関投資家、アナリスト、報道機関向け         |



